

目標達成計画

作成日: 平成 26年 4月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念の基、地域との繋がりを意識したGH独自の理念を再構築し、理念を掲げる。	現在のGH独自の理念に、地域との繋がりがや係わりを意識した言葉を掲げ、実践へと繋げる。	スタッフ間で議論し、GH独自の理念を新たに再構築する。 その理念を共有し、ケアに活かしていく。	3ヶ月
2	35	施設全体で年2回避難訓練を行っているが、GH独自の災害対策や訓練が行えていない為、必要な訓練や対策を計画的に行っていく必要がある。	GHでの災害訓練や対策を計画し、利用者に合わせた災害対策備品も見直す。	年間を通じて、昼夜問わず災害時を想定した訓練を繰り返し行う。	12ヶ月
3	4	現在運営推進会議を特養と合同で、年6回開催しているが、会議内容の開示が行えていない為、ご家族にも議事録を開示していく必要がある。	運営推進会議での会議内容を記載した、議事録をご家族へ開示する。	運営推進会議議事録を、毎月の請求書郵送時に同封しご家族にも観覧して頂く。	12ヶ月
4	33	重度化や終末期に向け、課題として今後ケアの向上を目指した取り組みが必要である。	重度化については、その人に合ったケアの提供を行えるよう個別ケアに力を入れる。 終末期については、スタッフの知識を向上しスキルアップをする事により、終末期を迎えられた方により良いケアを提供できるよう知識を共有する。	重度化と終末期ケアに向け、勉強会を定期的開催し、知識向上とスキルアップを行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。